

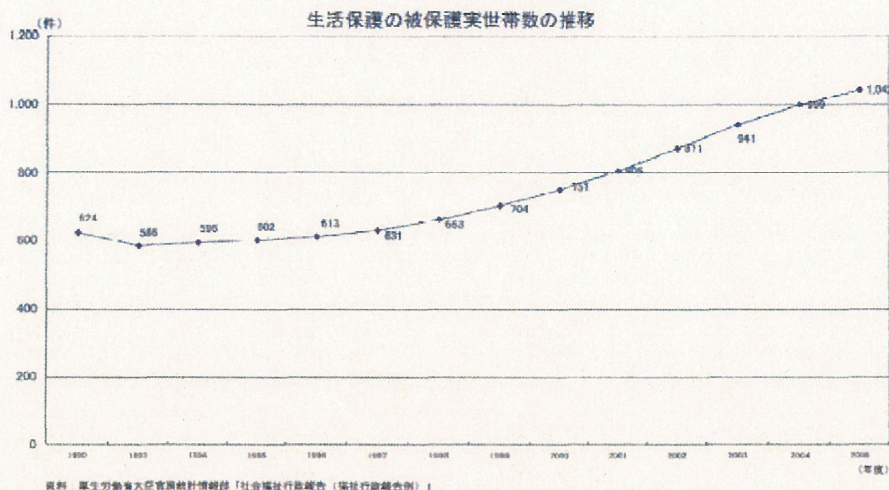
「1. 現状・問題分析とその改善方策（事業実施の必要性）」の記入例（平成19年度に作成した事業評価書（事前）（「地域日常生活自立支援事業」）から引用し、一部加工）。

現状の問題点、当該事業の必要性を記入

1. 現状・問題分析とその改善方策(事業実施の必要性)

生活保護を受給している世帯数は増加傾向にあるが、福祉事務所に生活保護の受給を希望し、相談に訪れる者のうち、生活保護の受給に結びつくのは3割程度であり、その他の者は生活保護の受給に至らないボーダーライン層として存在している。

これらボーダーライン層について自立支援策を講じることにより、生活保護の受給に至ることを未然に防止できることから、本事業を実施する必要がある。



現状・問題分析に関連する指標

指標の単位を( )で記入

	H14	H15	H16	H17	H18
1 生活保護受給者数 (単位:人)	870,931	941,270	998,887	1,041,508	集計中

(調査名・資料出所、備考)

・指標1は、「福祉行政報告例（社会福祉行政業務報告）」（大臣官房統計情報部社会統計課調べ）によるが、平成18年度の数値は集計中であり、平成19年10月に公表予定。

【参考】厚生労働省ホームページ <http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/38-1.html>

資料の入手先について記入

事業評価（事前）における指標欄記入の留意点

(1) 事業評価（事前）においては、「1. 現状・問題分析」欄に「現状・問題分析に関連する指標」、「4. 評価指標等」欄に「アウトカム指標」、「アウトプット指標」及び「参考統計」を設けている。「4. 評価指標等」欄の指標については、以下の定義により分類し